



大地申1号「JR東労組大宮地本第19回定期大会」の発言に基づく申し入れ④

大宮運転区で発生した脱退強要について議論！

○脱退強要の経緯(発生日:2018年8月15日) 大宮運転区・組合員の声

13時過ぎから区長と副区長に呼ばれ1時間にわたり組合脱退の話しをされました。

内容は、

- ・未来の会社と社員のために脱退するべき。
- ・助役のあなたが抜けてないから、抜きたい人も辞めづらい。
- ・組合は嘘ばかりで、これからも変わらない。
- ・管理一体と言うが、社員から見ればなってないと見られている。(管理者が脱退していない為)
- ・組合は会社をダメにする。
- ・東労組は、報道で未だにカクマルと関係があり危ない組織、上が変わってもストライキをやる。
- ・地方の意見の違いなどがありバラバラ。
- ・書かれている本人だからわかるが組合の掲示は嘘ばかり。

組合)大宮運転区では、区長と副区長が助役に対し、脱退の話が執拗に繰り返し行われている。調査し、二度とないようにして頂きたい。

会社)大宮運転区の事象について、前提として不当労働行為はあってはならないこと。ある程度の実態把握している。不当労働行為の認識はないが、誤解招くのであれば、ないように様々な会議の場で指導してきている。

組合)職場の責任者がやっている。添乗や飲み会や様々な場で脱退強要や懲慥をやっている。やられた組合員は不安になって、報告が来る。指導していても現実変わっていない。支社として把握して指導するべき。

会社)現場で不安の声、などコミュニケーションで応じている部分ある。不当労働行為の認識はないが、言葉の端々で不当労働行為と捉えられないよう教育を引き続きやっていく。

組合)大宮運転区現場長は、「組合はうそをつく」「組合は会社をダメにする」と言っている。

会社)個別のやり取りがある中だが、区長の立場としての発言であれば、不当労働行為と捉えかねない事象で、あってはならないこと。今後も個別の相談などあると思うので言動について注意するよう伝えていく。

会社は認めていませんが、上司としての立場を利用して、脱退強要を行っている大宮運転区の区長・副区長は、管理者として不適格です!この間、支社として現場長会議等を通じて、不当労働行為と捉えられないよう注意してきましたが、このような行為を行う事は、意思を持ってやっているとしか思えません!

脱退強要が発覚したらすぐに報告!